



## iQ Monozukuri 回転機振動診断 リモート操作環境のセットアップ手順(Secomea編)

### ■発行

2022年3月

### ■適用機種

AP10-VID001AA-MA, AP10-VID001AA-MB, AP10-VID001AA-MC, AP10-VID001AA-MD, AP10-VID001AA-ME, AP10-VID001AA-MF

三菱電機FAアプリケーションパッケージに、格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

本テクニカルニュースでは、回転機振動診断アプリケーションパッケージの、Secomea製品を活用したリモート操作環境のセットアップ手順についてご紹介いたします。

### 目次

1 概要	2
2 セットアップ手順の流れ	2
3 VNC サーバ機能の追加	3
3.1 VNC サーバ機能の概要	3
3.2 VNC サーバ機能の設定	4
3.3 VNC サーバ機能用ライセンス番号の登録	5
3.4 VNC クライアントソフトウェアによる動作確認	6
4 SiteManager の立上げ	7
4.1 Appliance Launcher のインストール	7
4.2 SiteManager の初期設定	8
4.3 GateManager との通信確認	12
5 Agent の追加	13
5.1 GateManager へのログイン	13
5.2 SiteManager の Agent 設定	17
6 LinkManager の立上げ	20
6.1 LinkManager ユーザの作成	20
6.2 LinkManager へのログイン	21
6.3 LinkManager のインストール	24
7 リモート操作	26
改訂履歴	28
商標	28

BCN-E2113-0052-A

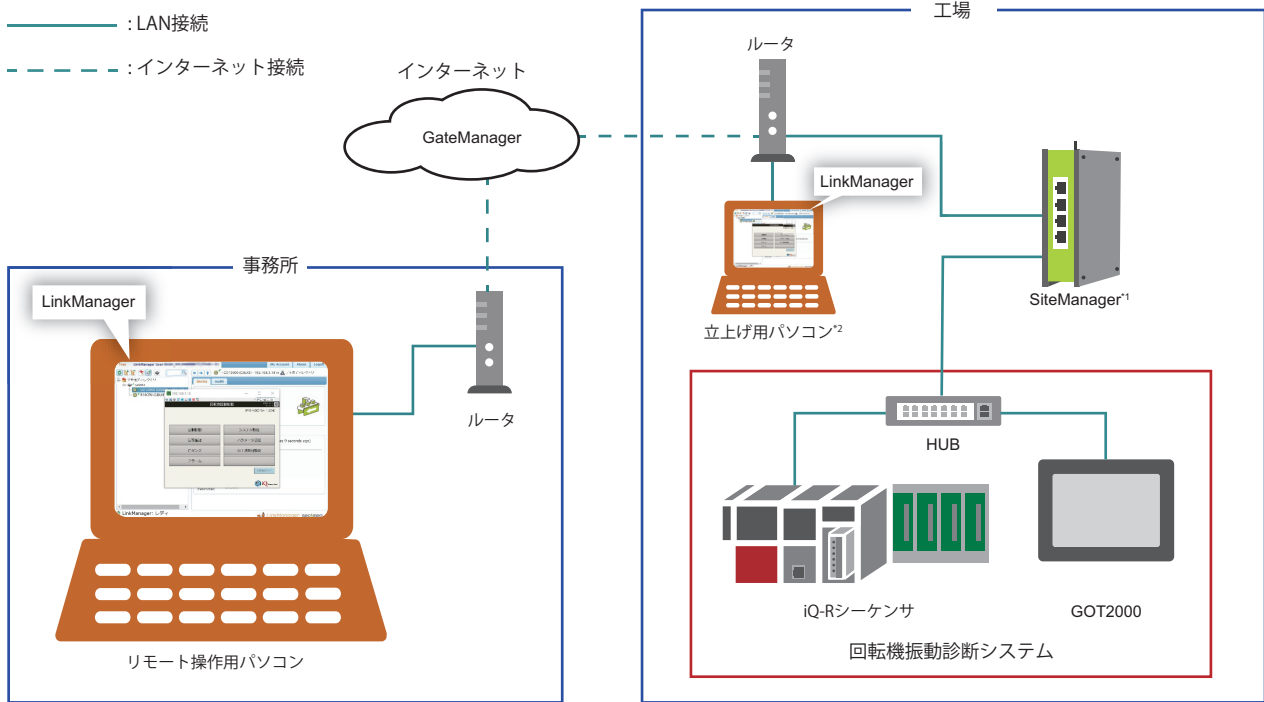
## 1 概要

本テクニカルニュースは、Secomea社製品を活用してiQ Monozukuri 回転機振動診断システムを遠隔地からリモート操作する環境を構築するためのセットアップ手順書です。

Secomea社製品の詳細は、下記へお問い合わせください。

Secomea合同会社(<https://secomea.co.jp>)

本テクニカルニュースで構築するシステム構成例を下記に示します。



\*1 SiteManagerの機種や設定によりWi-Fiや3G/4Gでの接続も可能です。

\*2 システムの立上げ時のみ使用します。

## 2 セットアップ手順の流れ

下記の手順で、リモート操作環境<sup>\*1</sup>を構築してください。

\*1 リモート操作環境に必要なハードウェアやインターネット環境は、システム構成の図を参照してください。(☞ 2ページ 概要)

**1.** 回転機振動診断システムにVNCサーバ機能を追加します。(☞ 3ページ VNCサーバ機能の追加)

必要なもの: VNCサーバ機能ライセンス, Ultra VNC Viewerのインストーラ

**2.** SiteManagerを立上げます。(☞ 7ページ SiteManagerの立上げ)

必要なもの: Appliance Launcherのインストーラ, Secomea社からGateManager管理者向けに配信されるメール<sup>\*1</sup>の情報

**3.** SiteManagerにAgentを追加します。(☞ 13ページ Agentの追加)

必要なもの: Secomea社からGateManager管理者向けに配信されるメール<sup>\*1</sup>の情報と添付ファイル(証明書)

**4.** LinkManagerを立上げます。(☞ 20ページ LinkManagerの立上げ)

必要なもの: Secomea社からLinkManagerユーザ向けに配信されるメール<sup>\*2</sup>の情報と添付ファイル(証明書)

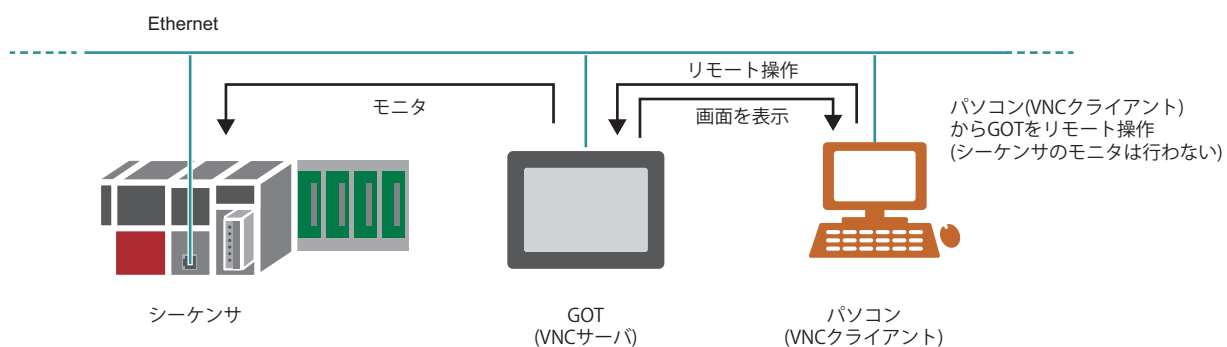
\*1 SiteManager購入時にSecomea社から配信されます。

\*2 GateManagerにLinkManagerユーザを追加するとSecomea社から配信されます。

### 3 VNCサーバ機能の追加

#### 3.1 VNCサーバ機能の概要

GOTのVNCサーバ機能を使用することにより、Ethernet経由で遠隔地にあるパソコンからGOTをリモート操作できます。



#### Point

- GOT本体にVNCサーバ機能用ライセンス番号の登録が必要です。VNCサーバ機能用ライセンス(GT25-VNCSKEY)は、別途ご購入ください。
- ライセンス番号が未登録の場合、VNCサーバと接続してから30分間、VNCサーバ機能を使用できます。使用できる回数は30回までです。再度使用するには、GOTの電源を再投入してください。31回目以降は、ライセンス番号を登録しないと使用できません。

## 3.2 VNCサーバ機能の設定

回転機振動診断用GOTプロジェクトファイルにVNCサーバ機能の設定を追加します。

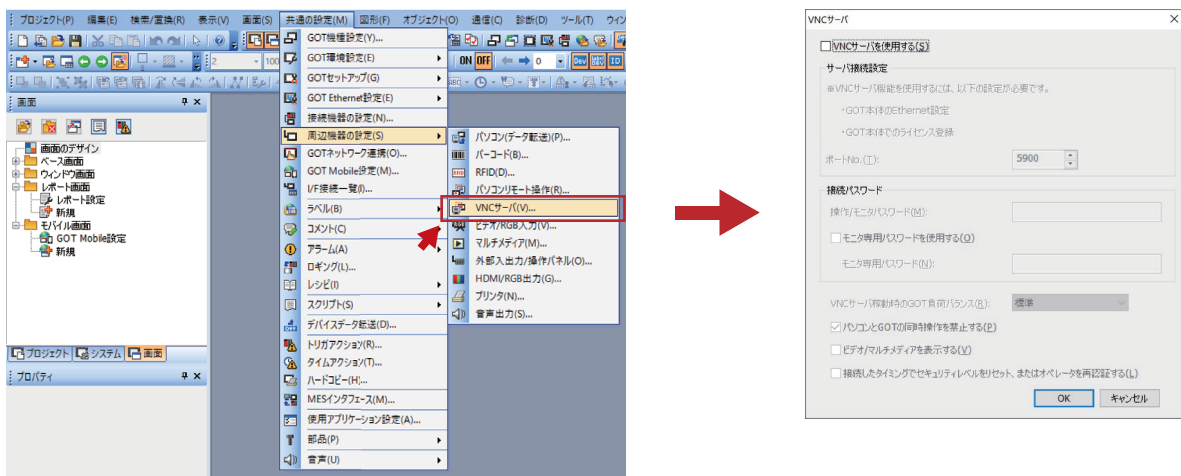
### Point

GT Designer3で回転機振動診断のGOTプロジェクトファイルを開く際には、ユーザ名とパスワードが必要です。

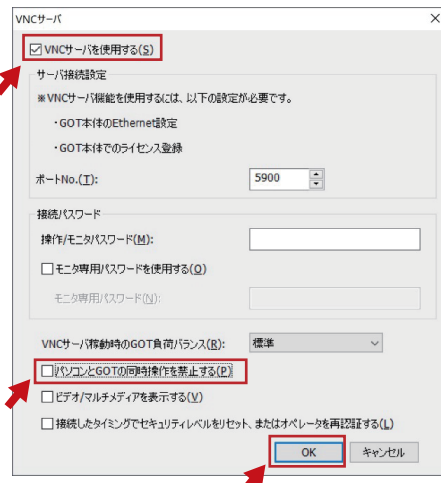
詳細は下記を参照してください。

iQ Monozukuri 回転機振動診断 取扱説明書

1. GT Designer3で回転機振動診断用GOTプロジェクトファイルを開き、[共通の設定]⇒[周辺機器の設定]⇒[VNCサーバ]をクリックして"VNCサーバ"ダイアログを表示します。



2. "VNCサーバを使用する"にチェックを入れ、"パソコンとGOTの同時操作を禁止する"のチェックを外した後、[OK]ボタンをクリックします



### Point

- "接続パスワード"は、必要に応じて設定してください。
- パソコンとGOT間で排他制御したい場合は、"パソコンとGOTの同時操作を禁止する"にチェックを入れてください。

3. GOTプロジェクトファイルを上書き保存後、GOTに書き込みます。  
(事前に回転機振動診断システムを構築しておいてください)

### 3.3 VNC サーバ機能用ライセンス番号の登録

GOT本体のユーティリティ機能でVNCサーバ機能用ライセンス番号を登録します。

**Point**

ユーティリティ機能を表示する際には、パスワードが必要です。  
詳細は下記を参照してください。

[iQ Monozukuri 回転機振動診断 取扱説明書](#)

1. GOT画面の左上隅を2秒以上長押しして"ユーティリティメインメニュー"画面を表示し、[拡張機能設定]スイッチをタッチします。



2. [ライセンス管理]スイッチをタッチして"ライセンス管理"画面を表示し、VNCサーバ機能用ライセンス番号を登録します。



### 3.4 VNCクライアントソフトウェアによる動作確認

VNCクライアントソフトウェア"UltraVNC Viewer"を使用してGOTの画面をパソコンに表示します。

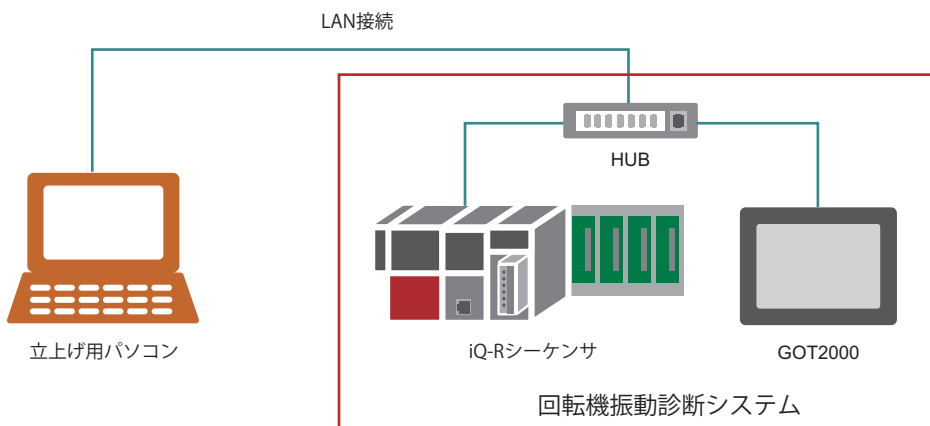
1. UltraVNC Viewerのインストーラを下記のURL からダウンロードします。

<http://www.uvnc.com/>

#### 注意事項

URLは変更される場合があります。

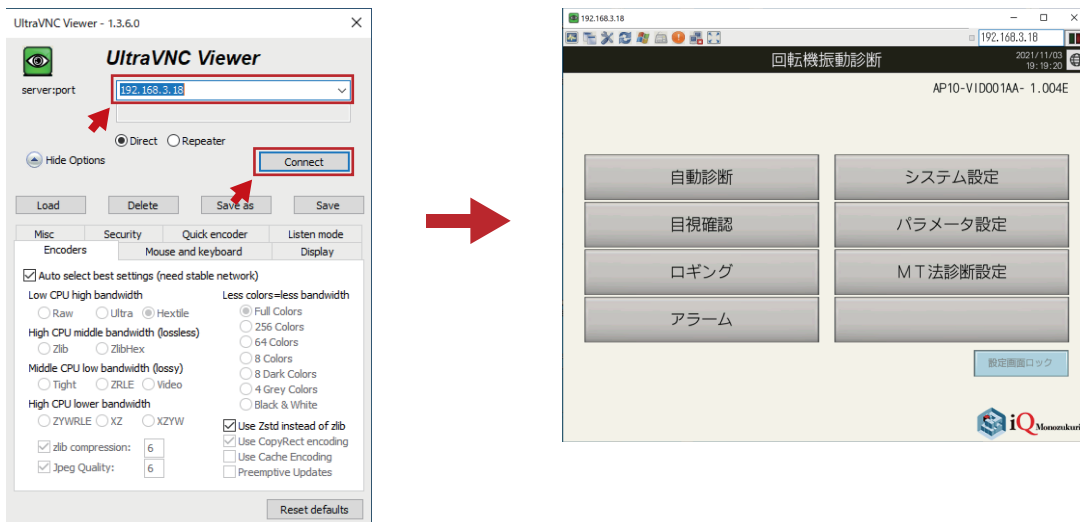
2. インストーラを実行し, UltraVNC Viewerをパソコンにインストールします。
3. パソコンのLANポートと回転機振動診断システムをLANケーブルで接続します。



#### Point

GOTのIPアドレスが"192.168.3.18", iQ-RシーケンサCPUのIPアドレスが"192.168.3.39"のため, パソコンにはその他のIPアドレス("192.168.3.100"など)を設定してください。

4. UltraVNC Viewerを起動し, GOTのIPアドレスを設定後, [Connect]ボタンをクリックします。GOTとの接続に成功するとUltraVNC Viewerのリモート画面が起動し, GOTの画面が表示されます。



#### Point

GOTとの接続に失敗する場合は, GOTとパソコン間でEthernet通信が可能な状態になっているかを確認してください。

## 4 SiteManagerの立上げ

---

### 4.1 Appliance Launcherのインストール

---

パソコンにAppliance Launcherをインストールします。

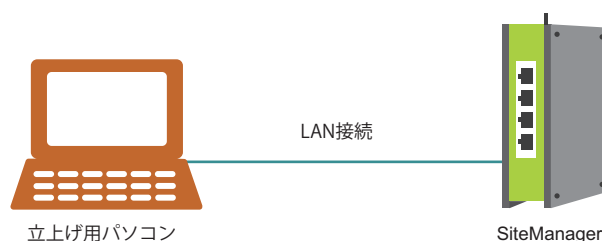
1. Appliance Launcherのインストーラを下記のURL からダウンロードします。

<https://kb.secomea.com/docs/appliance-launcher>

#### 注意事項

URLは変更される場合があります。

2. インストーラを実行し、Appliance Launcherをパソコンにインストールします。
3. SiteManagerの電源を入れ、パソコンのLANポートとSiteManagerのDEV1ポートをLANケーブルで接続します。



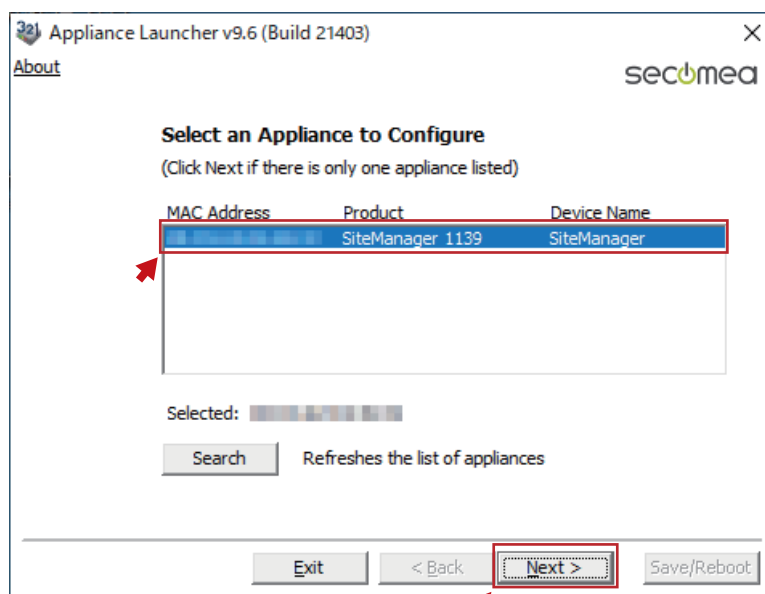
#### Point

- Appliance LauncherはSiteManagerの初期設定時のみに使用できます。その他のSiteManagerの設定変更時には、GateManagerを使用してください。
  - パソコンのWi-Fi機能を使用している場合は、SiteManagerの立上げが完了するまで、一時的にWi-Fi機能を無効にしてください。
-

## 4.2 SiteManagerの初期設定

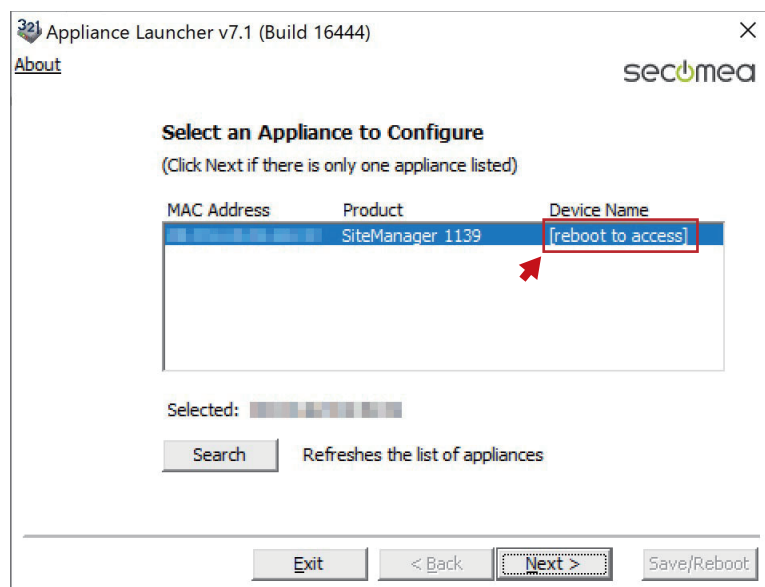
SiteManagerに接続した機器やGateManagerとの通信に必要な設定をします。

1. Appliance Launcherを起動します。
2. パソコンに接続したSiteManagerが表示されるため、選択して[Next]ボタンをクリックします。



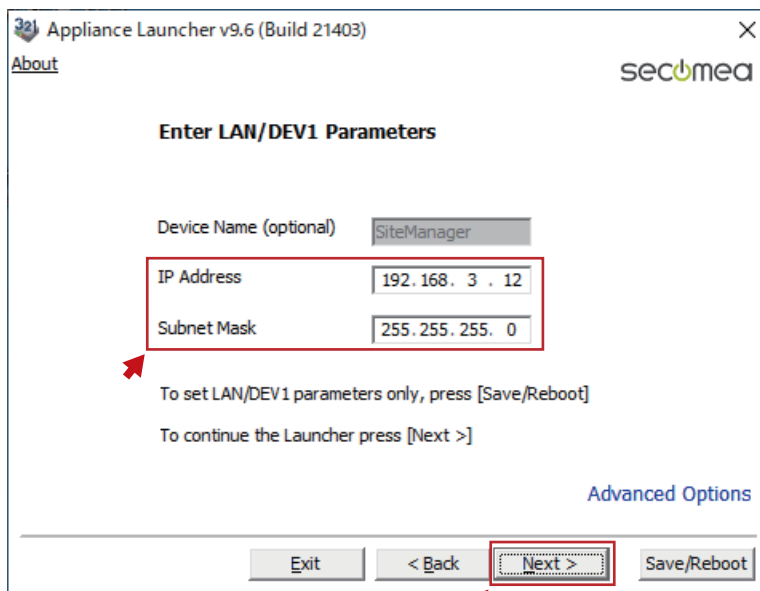
### 注意事項

"Device Name"に"reboot to access"と表示される場合は、SiteManagerを再起動してください。

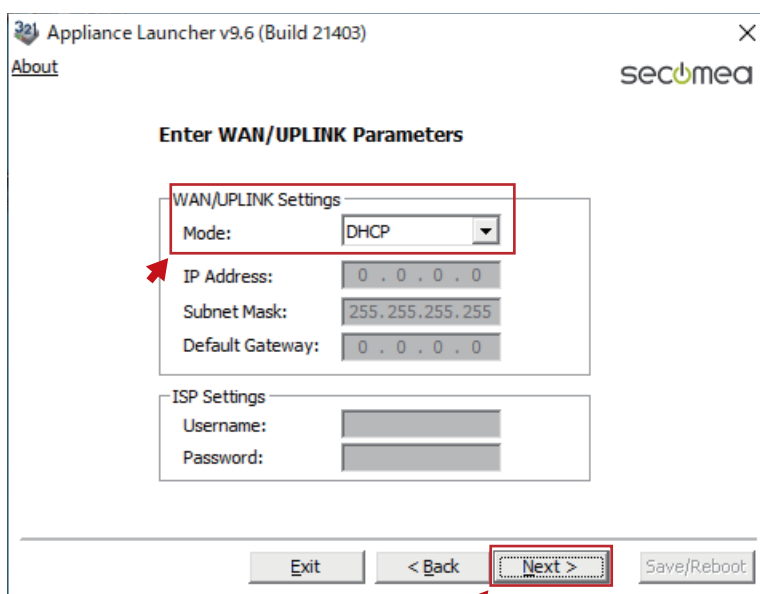




3. DEV1ポート(機器を接続するポート)のパラメータ設定で, "IP Address"および"Subnet Mask"を設定し, [Next]ボタンをクリックします。



4. UPLINK1ポート(インターネットに接続するポート)のパラメータ設定で"Mode"に"DHCP"を設定し, [Next]ボタンをクリックします。



5. Wi-Fiは使用しないため, [Next]ボタンをクリックします。

Appliance Launcher v9.6 (Build 21403) ×  
 About secomea

**Enter WAN2/UPLINK2 Parameters**

WAN2/UPLINK2 Settings

Mode:

IP Address:

Subnet Mask:

Default Gateway:

ISP/WiFi Settings

SIM PIN Code:

APN:

WiFi SSID:

WiFi Password:

Exit < Back **Next >** Save/Reboot

6. GateManagerのパラメータ設定で, "GateManager Address", "Domain Token", および"Appliance Name"を設定し, [Next]ボタンをクリックします。

Appliance Launcher v9.6 (Build 21403) ×  
 About secomea

**Enter GateManager Parameters**

GateManager Address:  DNS

Domain Token:

Appliance Name:

Web-Proxy IP address:  DNS

Web-Proxy Account:

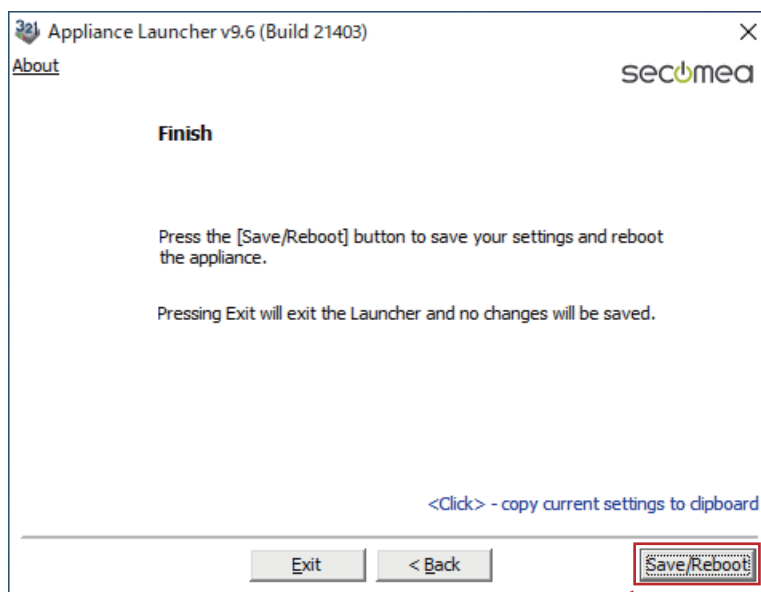
Web-Proxy Password:

Exit < Back **Next >** Save/Reboot

**Point**

- "GateManager Address", "Domain Token"に設定する内容は, Secomea社から配信されたメールに記載されています。ご不明点はSecomea社へお問い合わせください。
- "Appliance Name"には, SiteManagerを管理するための名称を設定してください。

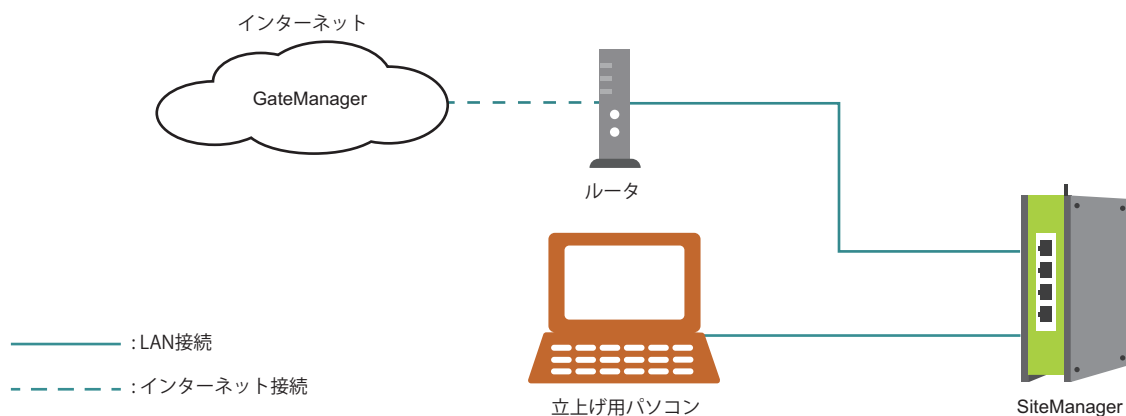
7. [Save/Reboot]ボタンをクリックします。(SiteManagerが再起動します)



### 4.3 GateManagerとの通信確認

GateManagerまでの通信が確立できているかを確認します。

1. SiteManagerのUPLINK1ポートにインターネット接続可能なLANケーブルを接続します。



2. SiteManagerがインターネット接続に成功し、GateManagerまでの通信が確立できると下記のようにSiteManager本体のSTATUSランプが緑点灯します。



#### 注意事項

STATUSが赤色点滅する場合は、SiteManagerのインターネット接続に問題があり、GateManagerとの接続が確立していません。

設定内容やインターネット接続を確認ください。

#### Point

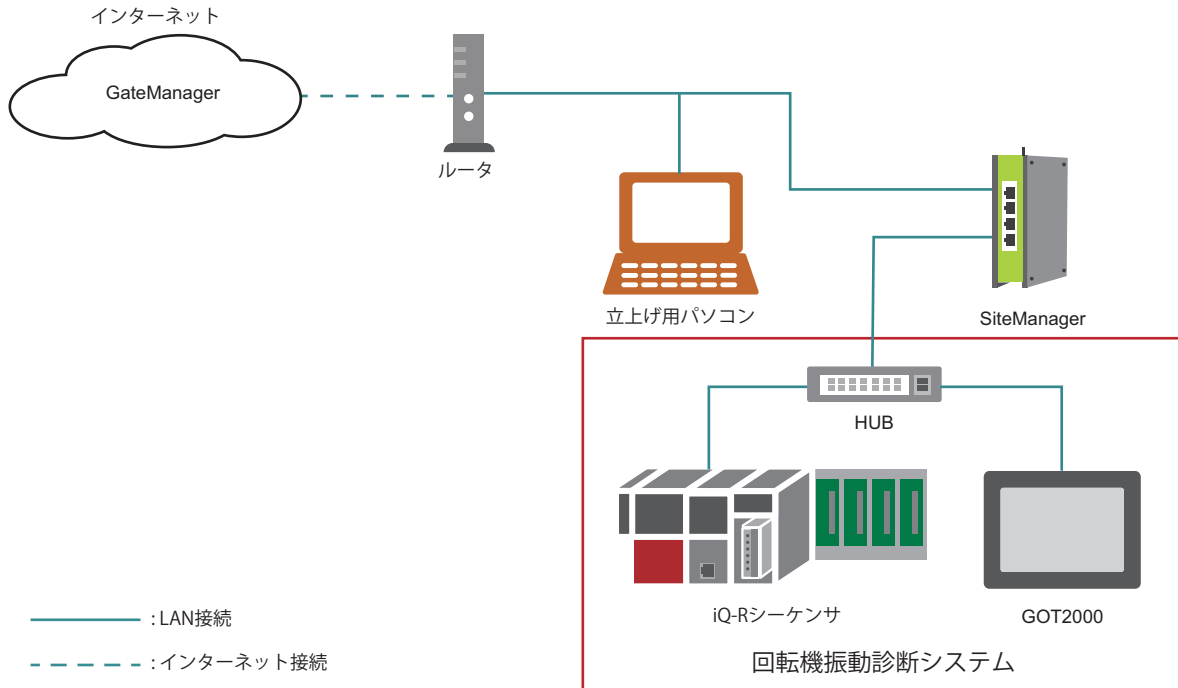
パソコンとSiteManagerを接続していたLANケーブルは、GateManagerとの通信確立後に取り外してください。

## 5 Agentの追加

### 5.1 GateManagerへのログイン

パソコンからGateManagerにログインし、管理画面を開きます。

1. SiteManagerのDEV1ポートと回転機振動診断システムをLANケーブルで接続します。また、パソコンのLANポートにインターネット接続可能なLANケーブルを接続します。



2. Secomea社から配信されたメールに記載されているURLリンクをクリックして、GateManagerランディングページを開きます。

次に"GateManager Portal"をクリックし、GateManagerのログイン画面を開きます。



BCN-E2113-0052-A

3. [ファイルの選択]ボタンをクリックし、メールに添付された証明書ファイルを指定します。  
次に、メール本文に記載された初回ログイン用パスワードを入力し、[Login]ボタンをクリックします。

4. 次回以降のログイン時に使用する新しいパスワードを入力し、[Continue]ボタンをクリックします。  
パスワード推奨要件は下記のとおりです。  
12文字以上で大文字小文字含む英数字および特殊文字("?", "<", ">", "\"")を含めます。

BCN-E2113-0052-A

5. 初回ログイン時のみ、下記のように使用許諾の同意を求められます。  
 上段に確認のチェックを入れ、[Continue]ボタンをクリックします。  
 (使用許諾の内容をメール配信する場合は下段にもチェックを入れます)

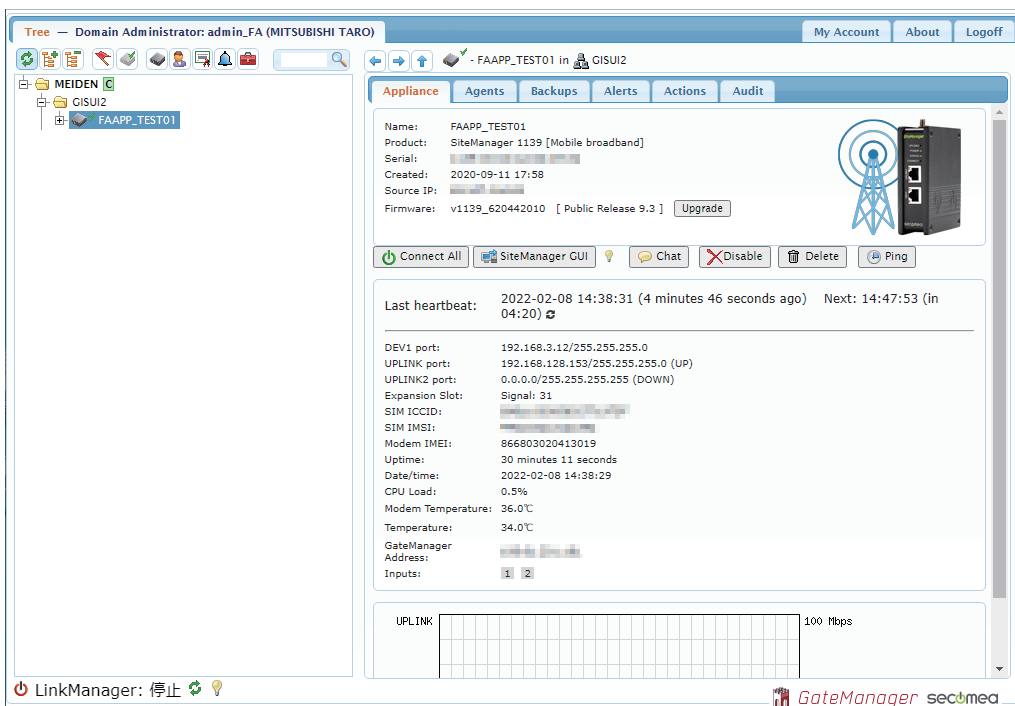
The screenshot shows the GateManager login interface. At the top, there is a red header with the 'GateManager secomea' logo and a castle icon. Below the header, the text reads: 'You must accept Terms of Use to login.' followed by 'You must accept the following Terms of Use before you can use the GateManager Server.' There are two links: 'Secomea GateManager General Terms of Use' and 'Hosting Server Terms of Use'. Below these are two checked checkboxes: 'I have read and accept the General and Hosting Server Terms of Use.' and 'Email a copy of the terms to Yamada.Yutaro@dn.MitsubishiElectric.co.jp.'. At the bottom, there are 'Continue' and 'Logout' buttons. Red arrows point to the checkboxes and the 'Continue' button. The 'secomea' logo is in the bottom right corner.

**Point** 

初回ログイン用パスワードの有効期限はSecomea社からのメール受信後48時間です。  
 有効期限切れ後にログインすると下記の画面が表示されるため、[Renew]ボタンをクリックして新しいパスワードを発行してください。

The screenshot shows the GateManager login interface after a failed login. The header is the same as in the previous screenshot. The main text reads: 'Login Failed' followed by 'One-time password has expired.' and 'Click Renew to receive a new one-time password.' At the bottom, there are 'Renew' and 'Retry' buttons. A red arrow points to the 'Renew' button. The 'secomea' logo is in the bottom right corner.

6. GateManagerの管理画面が表示されます。

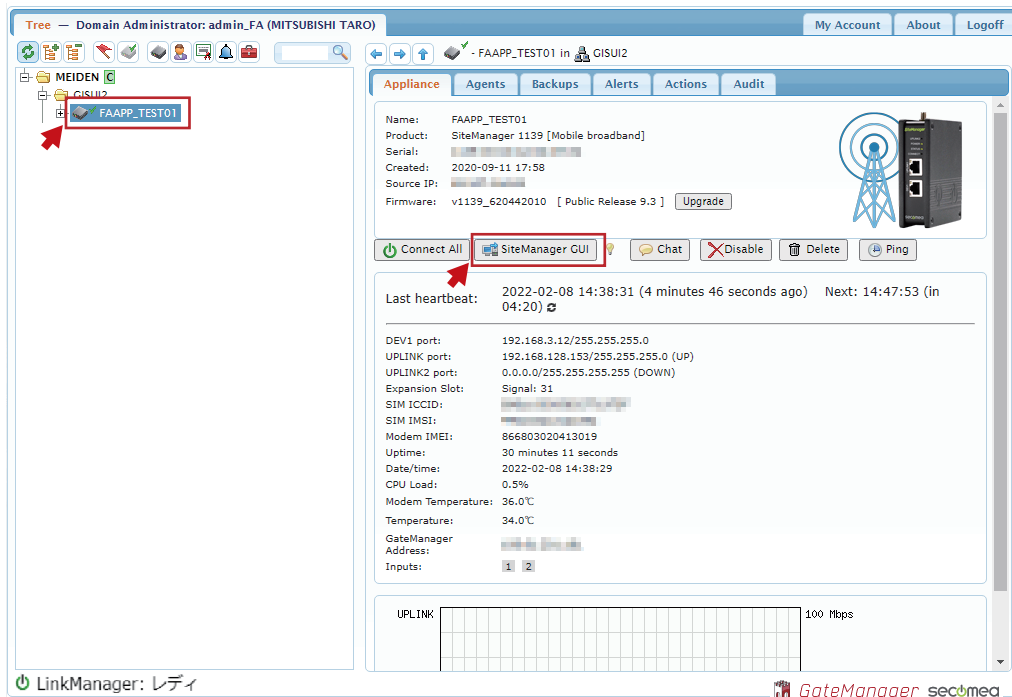




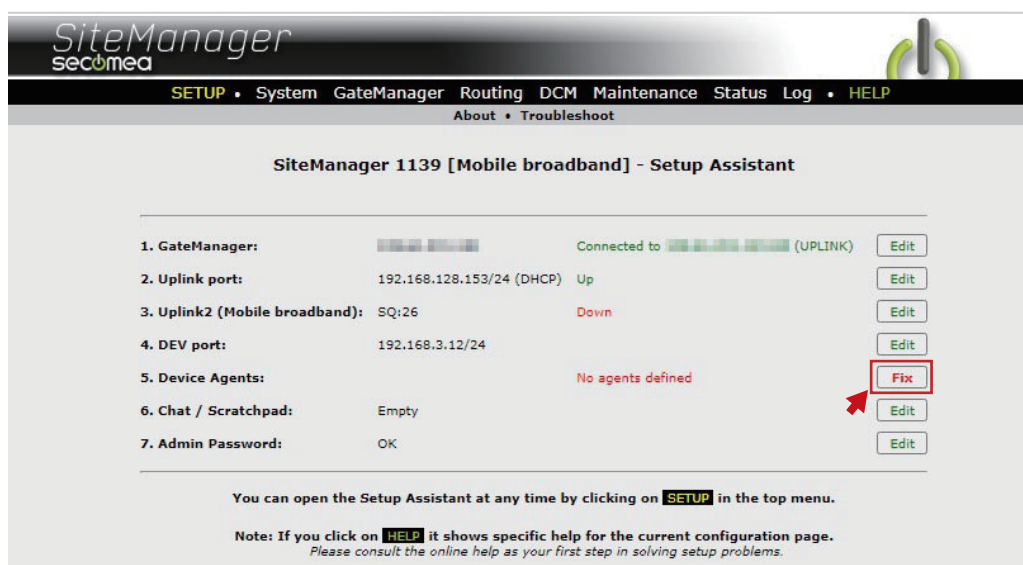
## 5.2 SiteManagerのAgent設定

GateManagerの管理画面からSiteManagerの管理画面を開き、Agentを設定します。

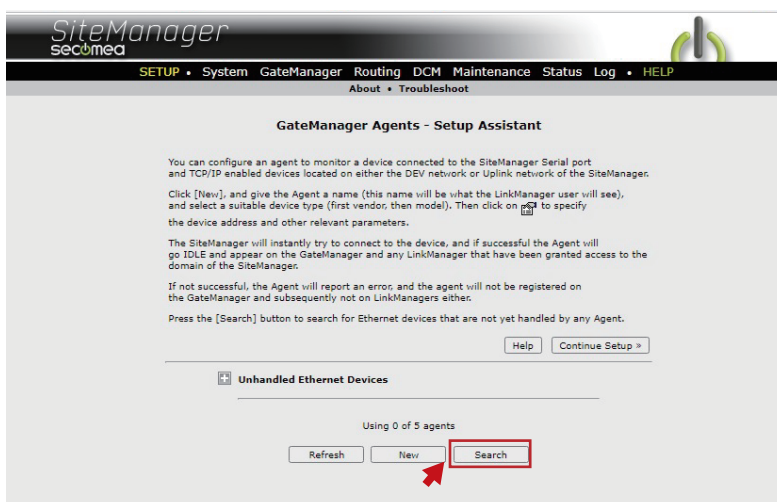
1. GateManagerの管理画面に、SiteManagerに設定した"Appliance Name"が表示されるため、選択して[SiteManager GUI]ボタンをクリックします。



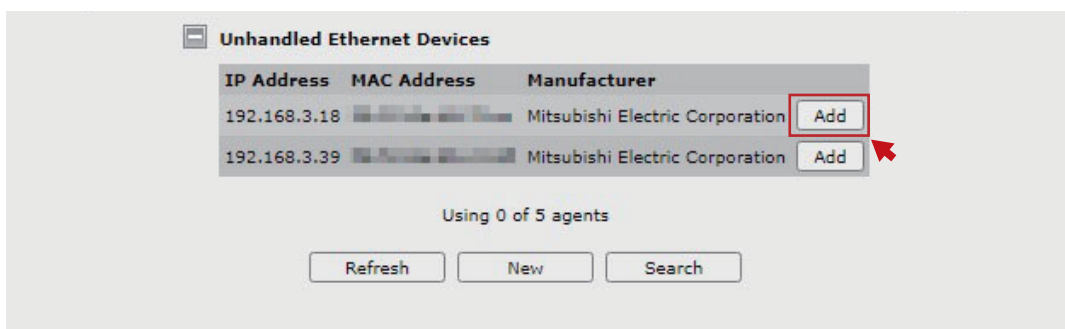
2. SiteManagerの管理画面で、"5.Device Agents"の[Fix]ボタンをクリックします。



3. [Search]ボタンをクリックします。



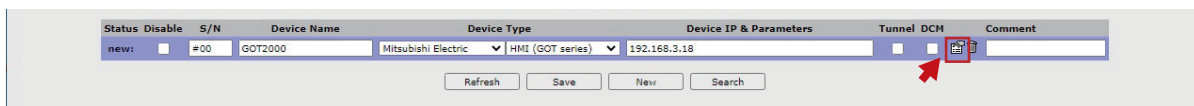
4. SiteManagerに接続された機器がリスト表示されるため、"IP Address"が"192.168.3.18"(GOT2000)の[Add]ボタンをクリックします。



5. "Device Name"および"Device Type"を設定し、[Save]をクリックします。



6. パラメータボタンをクリックします。



7. "Enable VNC service"にチェックを入れ, [Save]ボタンをクリックします。

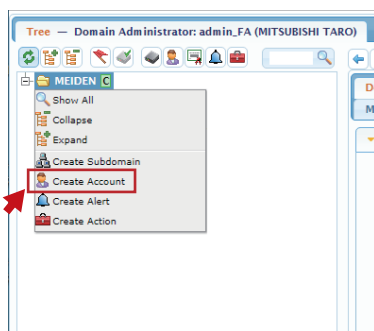
The screenshot shows the 'GOT2000' - Mitsubishi Electric Ethernet Agent - Setup Assistant interface. The 'Device Address' field is set to 192.168.3.18. Under the 'Enable VNC service' section, the checkbox is checked, and a red arrow points to it. The 'Save' button at the bottom is also highlighted with a red box and arrow. A legend at the bottom indicates that an asterisk (\*) denotes a mandatory field.

## 6 LinkManagerの立上げ

### 6.1 LinkManagerユーザの作成

GateManagerの管理画面でLinkManagerユーザを作成します。

1. GateManagerの管理画面にてフォルダを選択し、右クリックメニュー [Create Account]をクリックします。



2. LinkManagerユーザの作成に必要な下記情報を入力後、[Save]ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'New account' form in the Active Directory console. The form is titled '[New account]' and has tabs for 'Account', 'Joined Domains', and 'Audit'. The 'Account' tab is active. The form contains the following fields and options:

- Account Name: [New account]
- Account Role: [LinkManager User]
- Account Language: [Japanese (日本語)]
- Description: [Empty text box]
- Group Members: [Empty list box]
- Person Name: [Empty text box]
- Email: [Empty text box]
- Mobile: [Empty text box]
- Person Info: [Empty text box]
- Password changed: Created: 2021-11-05
- Disabled:  Auto-Disable: [Never]
- Authentication: [Certificate / Password]
- Create Password  Create Certificate
- Message: [Empty text box]
- Deliver to:  Ba.Mantei@ay.MitsubishiElectric.co.jp
- Zip Format:
- Buttons: [Save] [Cancel]

Red boxes highlight the 'Account Name', 'Account Role', 'Account Language', 'Person Name', 'Email', 'Mobile', and 'Save' button. Red arrows point to the 'Description' and 'Person Info' fields.

3. Secomea社からLinkManagerユーザにメールが配信されます。

## 6.2 LinkManagerへのログイン

LinkManagerユーザとしてLinkManagerへログインします。

1. Secomea社からLinkManagerユーザに配信されたメールに記載されているURLにアクセスして"LinkManagerログイン"画面を開き, [New]ボタンをクリックします。



2. [ファイルの選択]ボタンをクリックし, メールに添付された証明書ファイルを指定します。次に, メール本文に記載された初回ログイン用パスワードを入力し, [Login]ボタンをクリックします。

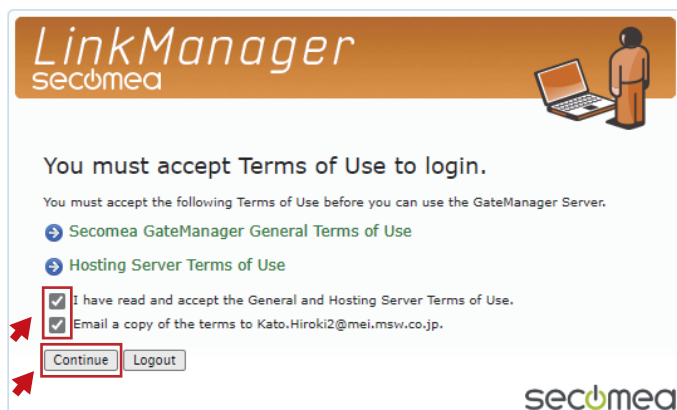


3. 次回以降のログイン時に使用する新しいパスワードを入力し, [Continue]ボタンをクリックします。パスワード推奨要件は下記のとおりです。12文字以上で大文字小文字含む英数字および特殊文字("?", "<", ">", "\"")等)を含めます。



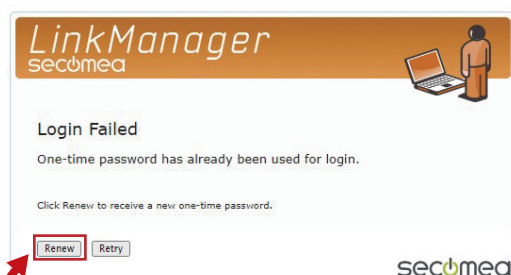
BCN-E2113-0052-A

4. 初回ログイン時のみ、下図のように使用許諾の同意を求められます。  
 上段に確認のチェックを入れ、[Continue]をクリックします。  
 (使用許諾の内容をメール配信する場合は下段にもチェックを入れます)



**Point**

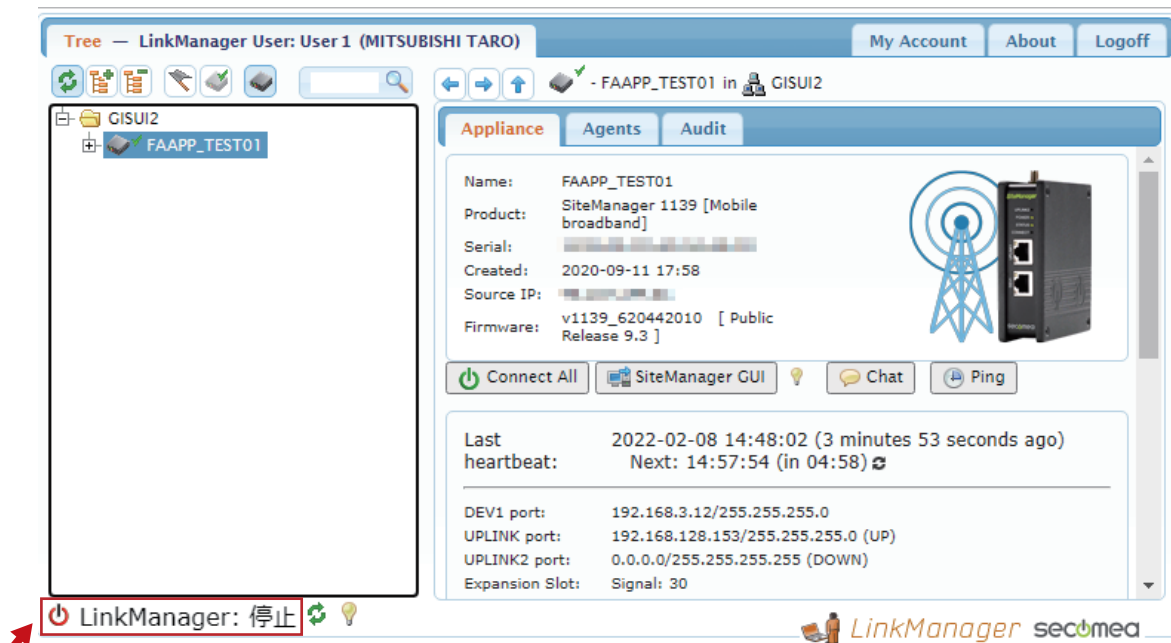
初回ログイン用パスワードの有効期限はSecomea社からのメール受信後48時間です。  
 有効期限切れ後にログインすると下記の画面が表示されるため、[Renew]ボタンをクリックして新しいパスワードを発行してください。



BCN-E2113-0052-A

5. LinkManagerの管理画面が表示されます。

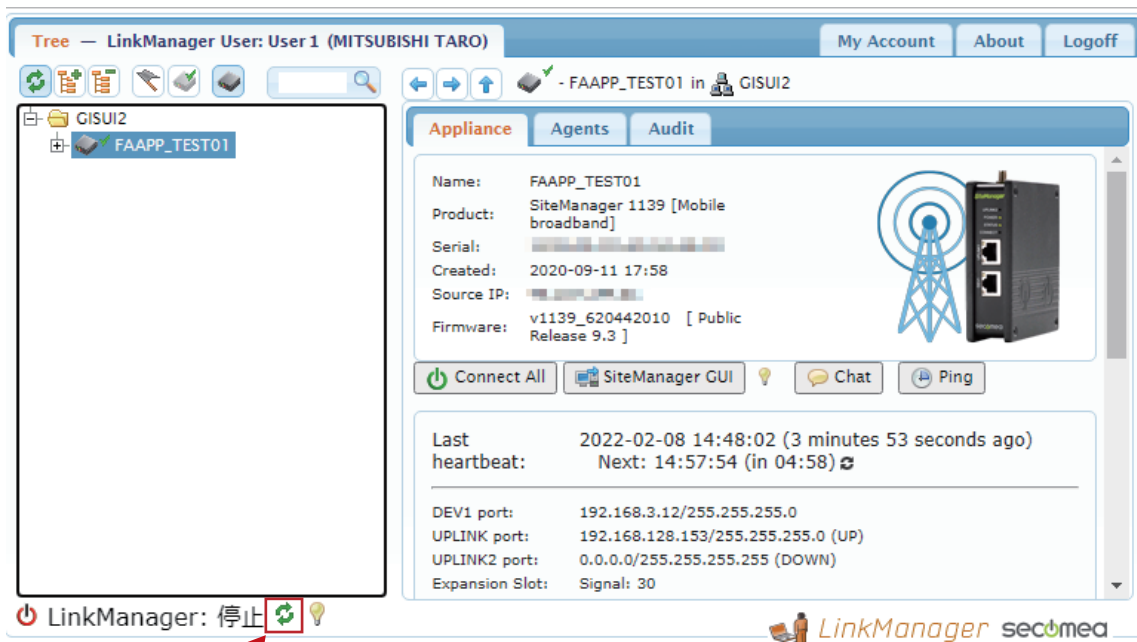
この時点ではパソコンにLinkManagerがインストールされていないため、管理画面の左下に"LinkManager: 停止"と表示されます。



## 6.3 LinkManagerのインストール

パソコンにLinkManagerをインストールします。

1. LinkManagerの管理画面の下部に表示されている更新ボタンをクリックします。



2. 下記の画面が表示されるため、[LinkManagerをインストールする]ボタンをクリックして、LinkManagerのインストーラをダウンロードします。



3. インストーラを実行し、LinkManagerをパソコンにインストールします。

### Point

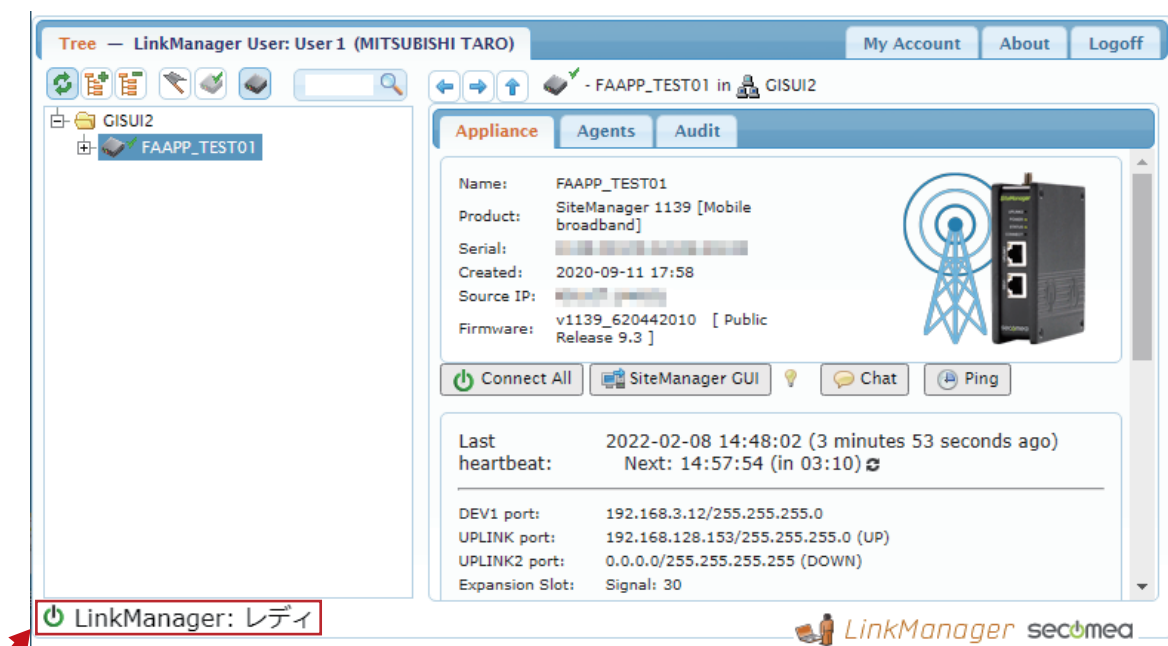
インストール時には、Administratorの権限が必要です。

4. インストール完了後、下記の画面に戻り、[LinkManagerを開始する]ボタンをクリックします。





5. LinkManagerの管理画面の左下に表示されていた"LinkManager: 停止"が"LinkManager: レディ"に変わります。



## 7 リモート操作

LinkManagerの管理画面からVNCクライアントソフトウェアを起動し、回転機振動診断システムをリモート操作します。

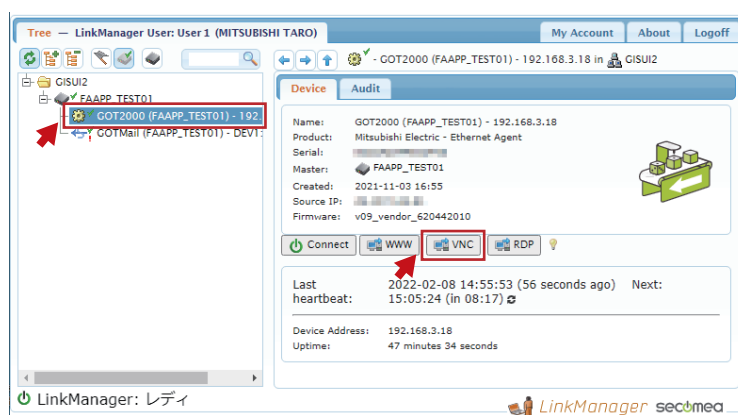
1. Secomea社からLinkManagerユーザに配信されたメールに記載されているURLにアクセスして"LinkManagerログイン"画面を開き、[New]ボタンをクリックします。



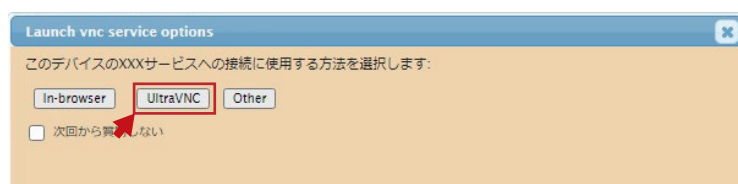
2. [ファイルの選択]ボタンをクリックし、メールに添付された証明書ファイルを指定します。次に、ログイン用パスワードを入力し、[Login]ボタンをクリックします。



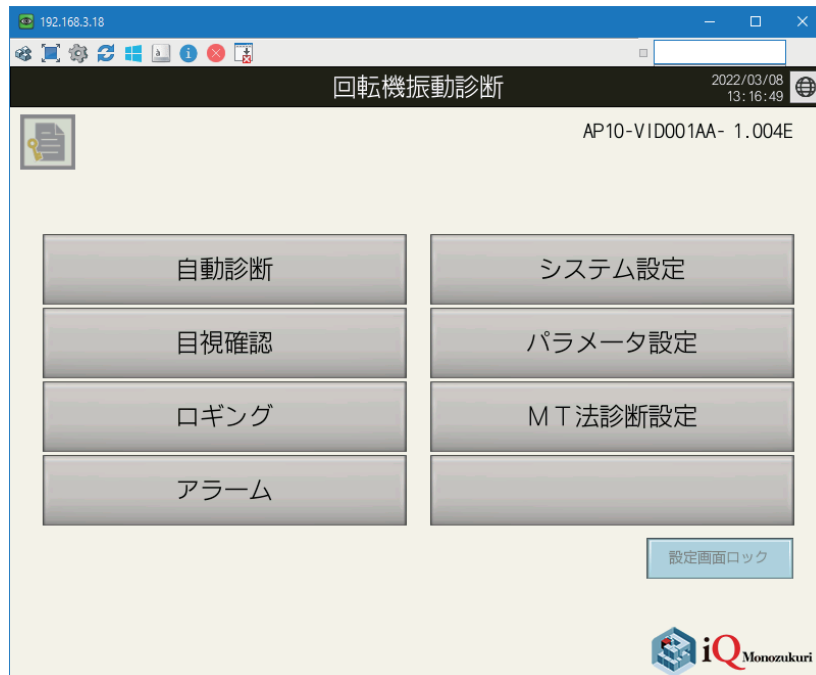
3. LinkManagerの管理画面が表示されるため、"GOT2000"を選択し、[VNC]ボタンをクリックします。



4. 下記画面が表示されるため、[UltraVNC]ボタンをクリックします。



5. UltraVNC Viewerのリモート画面が起動し、GOT画面が表示されます。



以上で回転機振動診断システムのリモート操作環境の構築は完了です。

BCN-E2113-0052-A

---

**改訂履歴**

副番	発行年月	改訂内容
A	2022年3月	初版

**商標**

本文中における会社名，システム名，製品名などは，一般に各社の登録商標または商標です。  
本文中で，商標記号(™，®)は明記していない場合があります。

製品の購入のご検討やご相談はこちらからお問い合わせください。

### 三菱電機株式会社

本社機器営業部	〒110-0016	東京都台東区台東1-30-7 (秋葉原アイマークビル)	(03) 5812-1470
北海道支社	〒060-8693	札幌市中央区北二条西4-1 (北海道ビル)	(011) 212-3794
東北支社	〒980-0013	仙台市青葉区花京院1-1-20 (花京院スクエア)	(022) 216-4546
関東支社	〒330-6034	さいたま市中央区新都心11-2 (明治安田生命さいたま新都心ビル)	(048) 600-5835
新潟支店	〒950-8504	新潟市中央区東大通1-4-1 (マルタケビル4F)	(025) 241-7227
神奈川支社	〒220-8118	横浜市西区みなとみらい2-2-1 (横浜ランドマークタワー)	(045) 224-2624
北陸支社	〒920-0031	金沢市広岡3-1-1 (金沢パークビル)	(076) 233-5502
中部支社	〒450-6423	名古屋市中村区名駅3-28-12 (大名古屋ビルヂング)	(052) 565-3385
豊田支店	〒471-0034	豊田市小坂本町1-5-10 (矢作豊田ビル)	(0565) 34-4112
関西支社	〒530-8206	大阪市北区大深町4-20 (グランフロント大阪 タワーA)	(06) 6486-4125
中国支社	〒730-8657	広島市中区中町7-32 (ニッセイ広島ビル)	(082) 248-5348
四国支社	〒760-8654	高松市寿町1-1-8 (日本生命高松駅前ビル)	(087) 825-0055
九州支社	〒810-8686	福岡市中央区天神2-12-1 (天神ビル)	(092) 721-2247

#### ⚠ 安全に関するご注意

本テクニカルニュースに記載された製品を正しくお使いいただくためご使用の前に必ず「マニュアル」をよくお読みください。